

令和 2 年 2 月 19 日 議会改革特別委員会 議事録  
10時00分 開会

○出席委員 ( 8 人 )

委員長 寺岡 公章

委員 藤川 和弘、小中真樹雄、小田上尚典、西村 一啓、網谷 芳孝、  
山崎 年一

議長 細川 雅子

○欠席委員 ( 1 人 )

副委員長 日域 究

○寺岡委員長 皆さん、おはようございます。議会改革特別委員会を開会します。

本日、定足数には達しているんですが、日域副委員長のほうから欠席されるという御連絡ありましたので、お知りおきください。

本日の議題は、皆さんにお示ししてありますように、SNSによる情報発信について、委員会中継について、あと自由討議と研修及び視察について御協議していただければというふうに思います。

まず、SNSによる情報発信について、前回から皆さん方をお願いをしておりました。事務局のほうと議長のほうをお願いをしまして、実際にまだクローズドのやり方ではあるんですけども、アカウントを取って、フェイスブックを立ち上げております。その紹介からまず行きたいんですが、皆さん、もうごらんなられて登録されましたか。アカウント取られてない方、まだ取られてない方いらっしゃいますか。

この間もお願いしましたが、事務局に相談していただいて、実際見てもらわないとやっぱり次行けませんので、よろしくお願いします。

ほかの皆さんはよろしかったですか。実際にアカウント取って申請を受けておられますか、大丈夫ですか。

西村委員。

○西村委員 アカウントは別個に取ってくれという意味、そういう意味をお尋ねしたかった。

○寺岡委員長 フェイスブックのアカウントがあって、そのアカウントを持って事務局に行けば、今非公開、クローズドなので、向こうからつながりますよというふうな案内が来るんですよ。ですので、事務局のほうに御相談をいただく必要があるんですが、そこはまだやっとならないですか。やっとなってください、お願いします。

では、若干名まだアカウントを取られてない、つながってないという方いらっしゃいますが、実際、SNSを議長また事務局が主導でやるとしたらどうなるかというのを紹介していきたいというふうに思います。

事務局協力していただきながら、議長のほうから御説明をいただけたらというふうに思います。

議長、事務局とかけ合いながら自由にお話しされて結構ですので、どういう格好でこの

半月程度やってこられたかというのを御紹介いただけますか。

局長。

○**田中事務局長** 去る1月20日の議会改革特別委員会の後に、小田上委員に御協力いただいてというか、ほとんど教えていただきながらつくったのが、今プロジェクターでスクリーンに投じてございます大竹市議会のフェイスブックのページというのをつくっております。これはまだ非公開でございまして、まずは委員の皆さんでこれを共有していただいて、運用の試行をしていくという格好になりますが、そのために、先ほど委員長申し上げられましたアカウントを取っていただく必要があるということで、アカウントを取られた方については、これが見られるようになる手続をこれから先していくようになります。試しにページを立ち上げた後に、現在は管理者が議会事務局、投稿者は議長のみできるような形になっております。議長のほうからは、もう既に幾つか投稿をいただいておりますのが、こちらの記事でございます。

先々週ですかね、石油基地防災対策都市協議会で公務出張した際の模様でございましたり、あと議員全員協議会のことでありますとか、こういったような実際の会議に関するものを現在は投稿をしていただいております。今後運用するとすれば、今回の議会改革特別委員会のお知らせでありますとか、こんなことが協議されましたといったような報告というような形でもって、まずは議員の皆様方で情報共有していただいて、最終的には、これを全面的に公開しようという格好になれば、議員の皆様だけのものではなく、どなたでも見れるような格好になっていこうかなというふうに考えておるところでございます。

事務局からは以上でございます。

○**寺岡委員長** ありがとうございます。

議長、説明をいただきたいんですけど、この書き込みをされた工夫とか、留意点とか、そういったあたりをちょっと御紹介いただけますか。

○**細川議長** 画面を見ながらというか、今のところ書き込みできるのは私だけに限定されているということで、今のところというか、しばらくは多分そうなるんじゃないかなという前提の上で考えてます。

大竹市議会としてのSNSですので、私の個人的な活動に関しては載せるのではなくて、載せてはならないと考えておりますので、公務として自分が出た等、いろんな協議会なり、そういった会合については、こんなんでしたよというのを書いてます。ですから、石油基地防災対策都市協議会に行って来ましたと。絵がないとおもしろくないだろうと思うから、青森市の視察もさせていただいたので、そこら辺を簡単に載せました。これは、大竹市議会以外での公務での活動ということで、記事の内容も本当に差しさわりのないことしか書いてないです。余り個人的な思いを書いてもなと思ったんで、そこら辺はやるうちにもっと踏み込んでもいいんじゃないのという皆さんからの御意見をいただけるようであれば、そこら辺も考えていきたいなというのと、書き方ももっとちゃんと、表題もつけたほうがいいのかあったら、アドバイスをいただければと思います。

あとは、これは青森市行った分ですけども、最近では議会報告会のこと書いて、これは日米交流合同コンサートも、これも公務として行った分です。こういうのに出ましたとい

うのとか、あと市議会関係が、議会改革特別委員会がきょう、今からありますよというのを載せました。一番新しいのは、こんなこと協議しますということで議事日程を、写真があんまりいい写真でなかったんでこんなものになってしまったのですが、これを載せて、終わったら、決まったことがあれば、こんなふうに決まりましたと。総務文教委員会が終わってから書いたんですけども、こういうことが決まりましたというのを、決まったことに関しては書いても大丈夫だということで、早いほうがいいかなというんで書いてみました。今のところは私が書き込むということで、私自身が行った、よそへ行った公務、それと市議会の正式な政策研究会、協議会、委員会あたりはできるだけ早目に、いつありますというのと、こんなことありましたぐらいはアップしたらどうだろうかということでアップしてます。皆さんこれから見れるようになったら、いろいろ御意見をいただければと思っております。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

実際に、もうつながってごらんになられてる方いらっしゃると思いますし、お二人の方もこれからということですが、実際こういう格好で運用して、まだ試行ですけど、運用が実現されれば試行の意味があるかなというふうに思います。試行期間はしばらくは設けたいと思います。あと1カ月、3月定例会中の当特別委員会において、もう一回、皆さん方には御意見を頂戴したいというふうに思いますが、試行にするか、本格的に進めるかというところは決めていきたいんですが、今の時点で皆さんの気づき、何かありますか。

どうぞ、小田上委員。

○小田上委員 今、現状なんですけど、議長が更新いただいてるものを、委員内で大丈夫なんですけど、リアルタイムで見るのがかなう状況なのかどうかですよね。僕がわかってる範囲だと、今検索しても出てこないじゃないですか。なので、それをリアルタイムで見て、議長がどういう運用されてるのというのがリアルタイムで見れるかどうかというところですよ。

○寺岡委員長 議長、何かありますか。はい、どうぞ。

○細川議長 済みません。これ、私がやり方がよくわからなかったんで、どうなんですかね。私のほうから友達リクエストをして友達になってもらったら見ていただけるようになるのかな。

○寺岡委員長 そういう仕組みでやってもらってると思いますけど、事務局、間違いありませんか。

局長。

○田中事務局長 実は、リアルタイムでの発信の仕方というのがまだ事務局で把握してなくて、そのあたり、御教授いただければと思います。それ、アカウント取ることがまず前提になりますよね。アカウント取られている方に対してリアルタイムで公開していくということになるかと思いますので、その運用、よろしければ会議終了後に御教授いただければと思います。

○寺岡委員長 どうぞ、小田上委員。

○小田上委員 正直アカウントつくってというところを協力はさせてもらったんですけど、

そこからの運用は、事務局がどうするかというのは、多分調べて委員長から、アカウントつくってくれというふうに言われてますので、それからどうするかというのは事務局のほう为主导でやっていただくことなのかなと思ってましたので、終わった後に協力はしますので。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

やってみてわかったこともいろいろあったというところが今の段階だというふうに思います。私もつながらせてはもらってるんですが、システマ的なところでまだまだ不十分なところがあるかなというふうな気づきもありますので、そこはまた事務局のほうと話ながらつくっていったらというふうに思います。ですので、まずは大前提は、ここにいらっしゃる委員の皆さんはまずつながっていただいて、そこからが試行の意味がありますので、山崎委員と西村委員には済みませんが、よろしくお願いいたします。

このSNSは実際走り出しているという状況で御理解いただいて、この程度にしたいと思います。

では、続きまして、日程第2、委員会中継について、に入りたいと思います。

前回、失礼しました。この間、議員全員協議会を事務局の力をかりて撮影をさせていたっているのは、皆さん御存じとお리だと思います。それをいろいろ事務局のほう工夫をして、いろいろな角度、高さ、そういったもので何種類か撮影をしております。実際、委員会中継、お金がない中でやるにはこうだよというところ、今現状の最も安価にできるパターンというのを今から、こういうやり方があるよというのを示していきたいと思います。

じゃあ、上河内担当のほうから、画像をざっと流しながら、ここはこういうふうなので撮りましたとか、説明していただけますか。

○上河内庶務係主任主事 今見ていただいているのが、出入り口付近から脚立にのぼり撮影をさせていただいております。全体を映すために引きの絵にしています。

続いて、正面入り口から机の上に置いて撮影をしています。

続いて、窓側から撮影させていただいた映像となります。こちら机の上に置いて固定して撮影のほうさせていただいております。

続いて、脚立の上から撮影しています。場所は窓側から撮影をしています。

続いて、窓側から、議員さんの席に近いところから撮影をしています。どうしても近くなるので、全体を映すことができないので、少しずつ動かして、全体を撮影しました。

続いて、正面から撮影となります。委員会室の後方から撮影しました。

続いて、ひとつ前の映像から少し前方に移動し撮影をしました。

続いて、正面から脚立を使って撮影をしました。

最後に、もう一度、入り口から脚立を使って撮影しました。

以上です。

○寺岡委員長 どうもありがとうございました。上河内さん、いろいろ御苦労かけましたね。ありがとうございます。

というのが、人がいない、お金がないという状況でやったのが今の様な感じになります。

す。お金をかければええものはもちろんできるんですが、ない中でどうやってやるかというところが、私ら委員会が今からつくり上げていくものかなというふうに思います。皆さん方、今ごらんになられて、画像がどうなのか、暗いなのか、音が聞こえんなとか、いろいろ気づきはあるというふうに思います。それをどう組み立てるかというところになりますけど、どうですか、感想を聞かせていただきたいのですが、皆さんのほうから、今ごらんになられて、いかがでしょうか。

小中委員。

○小中委員 最初だからしょうがないと思いますよね。だから、画像もだけど、できたら音がクリアなほうがいいのかなとは思いますが、お金もないことですし、これからトライアル・アンド・エラーでやっていくしかないんじゃないかと私は思います。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

ちなみに音は、これは生のスピーカーから出とる音を直のマイクで拾ったということですかね。

事務局。

○上河内庶務係主任主事 パソコンの内蔵したマイクから音を拾ったものになります。こちら、上の天井スピーカーから音声を拾ったような形になります。

以上です。

○寺岡委員長 パソコン内蔵のマイクやね、上のスピーカーから出る音をパソコン内蔵のマイクで拾ったということやね。ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

小田上委員。

○小田上委員 事務局で再生されたときに、音って今わかりづらかったですけど、どんな感じだったかなというところ、案外聞こえるのかなのか、全然だめだなのかというところ確認されたのかなというところ。あとは、そのまま置くとしたら、これから委員会内で検証するべきなんでしょうけど、カメラの位置をどうするのか。現実的じゃないところが、振って動かしていたところは多分現実的じゃないんで、どういう画格で1回やってみるかというところは精査していったほうがいいかなと。音が内蔵のマイクでそこまで問題がないということであれば、比較的早く行けるのかなというあたり。あとは、今何やってるかわからないんで、文字を入れるなり、各委員が誰がしゃべってるというところまで行けるのかどうかですよね。そういうところも含めて、どこまで行けそうなのかというのが、現状ですよ、あれば。

○寺岡委員長 事務局からは、ここで今流していただいた前に、P Cで1回、2回見ていただけたらと思うんですが、そのときに聞いた感じ、主観的で構いませんので、どうだったかというところと、キャプションをリアルで入れる作業が今の事務局の人員でできるのかどうか、そういったあたりをちょっとお答えいただけますか。

事務局。

○上河内庶務係主任主事 音に関しパソコンから見た感じでも、かなり音は悪かったなという印象はあります。あと、委員会の委員さんが現在発言していますというキャプションを

入れるとなると、かなり事務量が多くなります。本会議の動画をアップするに当たっては、キャプションがすでについている段階で動画を上げており、これに、休憩中とかそういった無駄なところを切ってアップしております。それでもアップするのにかなり時間のほうにかかっておりますので、委員会でキャプションをつける、また要らないという言い方もおかしいんですけども、そういったところを削除するという編集になると、かなりの時間がかかると思います。

以上です。

○寺岡委員長　ありがとうございます。

小田上委員、いかがですか。どうぞ。

○小田上委員　僕も現実的じゃないなと思うのは、委員誰がしゃべっているかというところで、キャプションをつけていく、委員の名前を出すというのは現実的じゃないなと思うんですけど、事前の準備として、どんな委員会が開かれるかというのはわかっているところなので、それをずっと常に出しておくということは可能なのかなというあたりは思うので、あと音声が悪いということで、やっぱり放送、このまま使う意味がないということになりかねないので、改善の方法、正直、画像はその次なのかなという気もしますが、音が聞こえないのでは、何話しているかわからないというところなので。

あと、確認したいのですが、この配信って録画して編集して出すものなのか、リアルタイムで出すものなのかというところで考え方が変わってくると思うんですけど、例えば暫時休憩した場合の音の扱いをどうするのか、国会の中継とかだと速記とめたりすると音なくなるじゃないですか、そういうあたりの対応どうするのかというところまで具体的に考えておかないと、休憩中の委員会室の音が出ることがよしなのかというところはどうかと思います。

○寺岡委員長　最後の御意見は次の次の段階の話なので、置いておきましょう。御意見として伺っておきます。

あとは、実際キャプション、スタッフが1人いたら可能とか、そういう感じになるんでしょうかね。超難しそうな顔してますが、無理なら無理って言ってください。

どうぞ、局長。

○田中事務局長　現体制では難しいのかなと。本会議場であれば、プリセットのやつでぱっぱとやっていくという作業できるんですけども、現状考えられるそういう作業になると今の体制だと厳しいのかなというのが正直なところです。

○寺岡委員長　ありがとうございました。

ほか、何か気づきとか御意見とかないですか。

特にないですね。ほいじゃあ、今、上がってるのが、音をどうするかというところ。現実問題、まだこの委員会中継を本格的にやるかどうかということも決定ではないです。これはいろいろ試行繰り返す中で、これならできるんじゃない、これぐらいならやる必要ないんじゃない、そもそも委員会中継そのものをやるべきかどうかというところの議論も今の時点では深めてはないです。ただ、きょうの時点では、ある機材、ある人員で何ができるかというところをごらんいただきました。じゃあ、今回でいえば、例えば画像がもう明る

くなくて、窓側のほうから映して、音声に一工夫できれば、見るにたえるものになるかな、聞くにたえるものになるかなというふうな思いではあります。それをやってみて、ごらんいただいてからの先ほどの小田上委員の気づきも含めて、休憩中どうするかということも含めて、もう少し議論していくという方向でいきたいと思います。どうでしょう。

事務局のほうで、定点カメラにはなと思います。それを実際PCでやるかどうかは別として、定点カメラでやって、音声のクオリティーを上げるというふうな仕組みをどうやったらつくれるか、何か腹案はありますか。

局長。

○田中事務局長 定点カメラですけども、パソコンにつなげられる、こういったものを中継するカメラも大分安価にはなっているということなので、消耗品で購入することは可能かと思います。音声に関しては、マイクを、今しゃべっておりますけど、このスピーカーから出てるやつというのは、そちらの後ろの音響機器でございますので、そこから何かしら出力して、録画するパソコンのほうに加工して取り込むことであれば、かなり音はクリアになるんじゃないかと思うんですが、いかんせん、これも機材が必要ですので、こういったものが要かというのは、これから研究が必要なのかなと思います。

以上です。

○寺岡委員長 機材もですが、技術的にはいかがですか。事務局で対応できるかどうか、機材があったとして。

はい、どうぞ。

○田中事務局長 きょう見ていただいた画像、撮ってるソフトというのは、このパソコンでもって、違うパソコンですね、ごめんなさい。パソコン自体は違うやつなんですけど、これについてるやつ使いましたけども、録音自体、録音・録画をするソフトは入っていますので、それに接続ができれば、カメラとその音声ですね。音声の取り込む、パソコンに取り込むための道具が確保できれば、固定であれば、次の段階、工夫をする手だてとしてはありなのかなという感覚は得ております。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

それでは、うちの委員会では、詳しい方もいらっしゃいますし、委員の中に。それから、本庁の中でそういった機材持っているとどこもあるかどうか確認していただきながら、なければ外部からお金かからない方法で借りてきて、試してみるというのもやってみようかと思うんです。本来であれば、議会内で完結しなければいけないことかもしれませんが、そのあたりは委員の皆さんに御了解いただいておりますが、よろしいでしょうか。いろいろな手段を試してみたいと思います。

それともう一個が、令和2年3月定例会の会期中のこの委員会でもう一度皆さんに、今度はこちらになりましたというのを示しできればいいと思うんですが、そのためには、どこかでサンプルを録画しないといけないということになります。そこで議長、私もその委員会の委員長には改めてお願いすることになるんですが、ほかの委員会をそういった撮影の場に使わせていただくことをまずは議長にお許しをいただいておりますが、議会

全体のことでですので、委員長には個別に私のほうから改めてお願いをさせていただきますが、いかがでしょうか。

議長。

○細川議長 内部だけで使うということであれば、委員長の許可があればよろしいかと思えます。規則では特に問題ないですね。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

それでは、ここでいえば、西村総務文教委員長と各委員長には改めてお願いをさせていただいて、全部の委員会を録画してみるということではないと思いますが、その都度お願いをしていきたいと思えます。3月にまた、ちょっとグレードアップしたものをみていただいて、また御判断をいただければというふうに思えます。3月にただ結論が出る問題じゃありませんので、試行期間ということ御承知おきください。

委員会中継については、今の時点ではこの程度かと思えますが、何かありますか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 ありがとうございます。

そうだ、1点、事務局にお尋ねしたいんですけども、ほかのまちの議会、ほかの市の議会のお話を伺ったときに、本会議をケーブルテレビ中継じゃなくユーチューブで配信しておられるといったところが結構あったんですよ。お金がかかりますかと言ったら、かからないと、あっちの経費を下げて、こっちの経費に回す、要はケーブルテレビ中継を切るといのはどんなですか。案の一つとしてありかどうか。

はい、どうぞ。

○田中事務局長 今、ユーチューブで録画中継配信しておりますけれども、これ、ケーブルテレビ中継を一旦撮ったものを編集して、暫時休憩の長いところとかカットして、実績の審議の部分のみを編集したものを公開しておるんですけども、だから、もうずっと流しっ放しということですか。ケーブルへのその公開の部分でのコストというのは下がるのかもしれないませんが、公開のありようとしてそれはどうなんだろう。逆に言うと、その録画中継のも、ユーチューブに出してるものも、また別途編集が必要になってくるといことになりますよね。なので、ちょっと即答が難しいんですけども、こういったとこでよろしいでしょうか。

○寺岡委員長 はい、ありがとうございます。

嫌そうな反応でしたが、研究するぐらいにはひっかかるかなというところで、きょうのところは終わりたいと思えます。

では、日程第2、委員会中継については、本日はこの程度にしたいと思います。

続いて、日程第3、自由討議について。

サイドブックに資料がいろいろと上げていただいております。それで、特に広島法科大学院論集の新井先生の小論文については、なかなか読み応えがあったかなというふうに思えます。皆さん方もごらんいただいていると思うのですが、いかがですかね。この感想あたりから伺いたいのですが、自由討議について、いかがでしょうかね。

小中委員。

○小中委員 はっきり言って、この後講演とかありましたけど、これ見て、しょせん学者のあれかなと。学者というのは、簡単なことを難しく表現するのが仕事なのかどうかかわかんないけど、もし試行するんだったら、わからんから講演とかじゃなくて、お金もないことだし、先行自治体にどういうふうにやってるのか、それでメリット、デメリットの現時点での問題点を聞けば、それで十分やと思いますよ。理念とかなんとかというのを教えてもらわんでも私は全く問題はないと思いますので、この人はこの人で研究してるのかもしれないですけど、これは一事件であって、だから、廿日市市と三次市でしたか、先行自治体に聞いて、どういうメリット、デメリットがあって、実際それで試行でやってみて、大竹独自のやり方でやればええんやないかと私は思います。

○寺岡委員長 済みません。今、日程第4に大分絡んでますが、今、日程3の話をしていますので、研修及び視察についてはこの次の議題になってます。

○小中委員 だから、その視察をすとかしないとかじゃなくて、要するに、これについて後の研修ということですが、その先行自治体はどうやっているのかちゅうことの研究をすればいいのではないかということだと思いますけどね。だから、別に自由討議をすること自体は、皆さんがその問題がないと思われているんやったら、それでええんやないかと私は思いますけどね。

○寺岡委員長 はい、ありがとうございました。

この新井先生のこの御意見については、とりあえず無視というところだと思います。

○小中委員 無視とは言っていない。

○寺岡委員長 済みません。失礼しました。

○小中委員 無視とか言うと言弊があるので、別にこれにこだわる必要はないと。

○寺岡委員長 こだわる必要はないですね、失礼しました。訂正いたします。

ほか、感想、何かありますか。

小田上委員。

○小田上委員 自由討議の中で重要なのが、何を議題にするかというところなんだろうというのは感じました。大枠、討議する内容を自由にしちゃうと大変になるだろうなど。自由討議の方法ですけど、その方法のルールづくりというのもしっかり行わないと、議題が決まっていたとしても、その議題について審議するのもしないのかという討議から始まるような前提の話をするのか、中身踏み込んだ個別の案件の話をするのかというところ、ちゃんと絞るような仕組みづくりをつくった上で自由討議をしないと難しいのかなというのは感じたんで、そこのあたりは各委員長の判断になると思うんですが、どこをどういうふうに自由討議に設定するという、しっかりしたものが要なんだろうというふうには感じました。

○寺岡委員長 はい、ありがとうございます。

ほか、いかがですかね。

済みません。今、新井先生の小論文について振った私もあれなんです、ほかの三次市とか条例ごらんになったものからでももちろん構いませんし、感想があれば伺っておきた

いのですが。

網谷委員、どうぞ。

○網谷委員 私も全部読んだわけじゃないのですが、第一印象は手間がかかるのかなという、というのも、質疑と討論の間に討議を入れるとかちゅうシステムがあったので、そこはまだ文章の中では結論が出てないということを書いとるんでね。ということは委員長の采配によると思うのですが、私自身、質疑の後に討論があるのだから、その間に討議を入れるとかなり時間もかかるのかなという感じを受けたのですが、まだそれ決まったわけじゃないですよ、この論文の中でもね。先生の間でもまだ結論が出てないということを知ったので、システムのひとつふえるのかなというような感じはしました。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

今、地方議会でやられている討論の弱い部分をどう補完するか、そのあり方の一つが自由討議であると、そういったところも言及されておられますので、今後の議論の中でそういったことも深められたらと思います。

ほか、何か気づきなかったですか。

じゃあ、私も読んで中で、箇条書きといいますか、ポイント、ポイントで気になったところが、まずは読み進めていくうちに、現在ある会派というのが足かせになってくるのかな。これが討議の時間をどのタイミングで加えるかというところを練っていかないといけないかなというところ。それから、常任委員会のほうでは、討議をするとすれば、あらかじめ、じゃあこれから20分とか、30分とかいうふうに時間を決めてから討議を設定する必要は起こってくるのかなというふうに思いました。

委員会も協議会に切りかえてというのが現実的であるかなと思いましたし、自由討議の性質上、執行部を退席させて、その時間を設けるということがより効果があるかなというふうに思います。あとは、討議をするための資料、情報というのは議員のほうで準備をすると、その必要があるかと思いました。事務局に頼るのではなくて、議員がみずから歩いて、また耳を傾けて、資料、また情報というのを集めてくる。で、それをよりどころにする場合は、ソースを明確にしておく必要があるかというふうに思いました。ですから、思い込みとか、人伝えに聞いたこととか、うわさ話とか、そういったものは論拠にはなり得ないだろうなというふうな感想を持っています。

あと、委員ごとの発言の平等をどう確保するか。あとは、会派のほうとしても、ふだんからしっかり会派の調整を行っておいていただいて、委員というのはやっぱり独立したものですから、個々の議員としての役割ですから、その委員の重さ、それから責任ということをしておいてなければいけないかと思います。といったところが、私のあくまで気づきです。こういった自由討議について考える上で、そういった感想を持ってました。これらを、先ほど小中委員、網谷委員と小田上委員が御発言されたこととあわせて、まだまだ練っていかなければいけないかなというふうに思っております。

特別委員会では、従来より比較的自由討議の場面というのは多く設定をしておられました。委員長の判断によって踏み込まれたわけですが、今後、これを実際にどうしていくかというところで、どうしましょうかね。どこかの常任委員会に一度お願いをして、

それこそ試行してみなければいけないかなというふうには思うのですが、それか、もう自由討議そのものを、何か難しそうだからやめとこうかというのも判断の一つだと思います。必要ないからやめとこうかというのも判断の一つではあるかというふうに思います。そのあたりの今後、皆さん方、ほかの自治体のほうに調査や聞き取りなどをする必要があるのであれば、そういった時間を設けたいと思いますし、反対される委員さんもいらっしゃると思いますが、この自由討議について研究しておられる方をお招きしてお話を伺ううちゅうこともやり方の一つとしてはあります。

それじゃあ、次回の会議で、この自由討議について研究を続けるかどうかをまず決めたいと思います。するならするで、どういう研究の仕方があるのかというのを皆さん方から御意見を伺っていきたいと思います。調査項目もきょう上がったものはまとめておいて、これらをどう片づけていくか、整理していくかというところを進めていければというふうに思いますので、まず入り口は、自由討議についてテーブルに上げとくか、テーブルからおろすか、協議のテーブルに上げとくままにするか、おろすか、ここから次回の会議では決めていきたいと思いますので、それぞれ御準備をよろしく願いいたします。

自由討議について何かありますか。なければこの程度にしたいと思いますが、どうでしょう。

議長、どうぞ。

○細川議長 委員長の言われ方がよくわからなかったんですけど、テーブルからおろすかどうかというのは、もう自由討議については自由討議はしないという意味でテーブルからおろすというふうに言われたのか、それとも自由討議は試行すると、ここでいろいろ議論をしないでやっていくという意味でテーブルからおろすと言われたのか、その辺がよくわからなかったなので、再度お願いします。

○寺岡委員長 今のは議論の対象から外すという意味で言いました。そのまま自由討議について研究を進めていくか、外すかというところで、3月、御判断をいただきたいというふうに思います。

議長。

○細川議長 自由討議については、議会基本条例をつくっていくときに大分議論はしていると思うのですが、ぜひ次回までに基本条例についてももう一度見直して、しっかりと思いついて、その上で判断をお願いしたいと思います。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

小中委員。

○小中委員 いきなりというか、まず、やるかやめるかというよりも、もう一応上がったんだし、個人的にはやってもいいのではないかと、来週いうんやったらそれでもいいと思うのですが、いきなり、そのというのはいかがなものかなという気は個人的にはします。それとあと、自由討議について、ほかの常任委員会とかじゃなくて、まずこの議会改革特別委員会でもうちちょっとやってみるというのも一つの手かなと私は思いますが。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

今のような御意見が自由討議の切り口だというふうに思います。

論文をお借りすれば、一番最後、必要であるけれども、どのような手法がよいかという議論へと昇華させていく必要がある。討議をすること自体の積極的意義を再確認していく作業であると、これが自由討議のシステムとして組み込むかどうか、ここを意識してやっていければ、おのずと答えは出てくるかなというふうに思います。

ただ、私にしても、小中委員にしても、一委員としての思いが全て実現できるのが議会ではありませんので、そこはみんなで足並みをそろえながら、いいことは、これはいいことなんだからやろう、いや、やっぱり必要ないからやめようというのは、確認しながら作業していく必要があると思います。でないと、何かの議案は別として、議会の運営そのもののことですから、やはり全会一致で進めていきたいという思いがありますので、そういった意味でも、次回、改めて皆様方の御意思を御確認させていただきたいというふうに思います。そういったところで確認をさせていただきますので、よろしくお願いします。ですから、来月、今おっしゃってくださった前向きな御意見というのも改めて御発言くださったら、推進していくべきと思ってられる方にとっては大変心強いと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、この件については、この程度でいいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 この日程第3については終わります。

続いて、日程第4、研修及び視察について、いつもお示ししている日程表になります。ナンバー6、改善策試行の検討が先月と今月、来月というところになってます。見直しを来月、3月中にまた活動計画そのものの見直しもしていくんですけども、それとあわせて17番から20番あたり、これを削除するかどうかというのも決めていく必要があるんですね。

そこで、本当に調査が必要であればやっとかにやいけませんし、必要ないという御意見であれば今ある情報の中で協議検討していけばいいことですし、そういったところで委員の皆さん方から御意見をちょっと伺いたいんですけど、事例調査なり、講習会なり、何か御意見があったら伺いたいたですが、いかがでしょうか。

○小田上委員 委員会中継に関しては、まだまだ委員会内で精査していけるところあるんじゃないかなと思うんですけど、自由討議については、先ほど各委員が上げたポイントあると思うので、そういうところ、実際に行われている議会とかの話を聞くでもいいですし、行ってみるでもいいですけど、何かしら外部の調査ができるほうが現実的な運用してる場所という声が聞けていいのかなとは思いますが。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

ほか、いかがですか。

○小中委員 先ほども申し上げましたように、自由討議については次回に委ねるという話なんですけど、私は、要するに、講演会とかそういうものは必要ないと思います。するんだったら、先行自治体の実施状況を調べるということでもいいのではないかと思います。

○寺岡委員長 これは、どの課題について、今。

○小中委員 自由討議は来月に回されるという話ですが、そこでまた試行を継続するという形になって、研修なり講習ちゅう話が出てくるとすれば、はっきり言って、小難しい講演

会聞いたところで何の役にも立たないと思われますので、先行自治体に行って、継続する  
 んであれば、そういう研究をすればいいのではないかと思います。なればの話です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

自由討議以外の部分については、同じ意見でよろしいですか。

○小中委員 自由討議以外の部分では、委員会中継はまず聞く云々よりも、やってみて、こ  
 こを改善しなければいけないという問題点がはっきりしてから、その都度対策を立ててい  
 けばいいんで、そんなに最初から完全なものをつくろう思わずに、長い目というか、時間  
 をかけてやってもいいんじゃないかと私は思います。

○寺岡委員長 長い目で見るね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょう。

藤川委員。

○藤川委員 まず自由討議ですが、私はぜひやっていただきたいという意見から言わせても  
 らう、またそれは来月やるんですね、まず賛成の意見として。小中委員と似ている部分  
 がありますが、講演とかいうより、やっぱり実施しているところ、三次市と廿日市市行って、  
 いいところ悪いところ、聞くのが一番いいのかなと私自身思います。

そして、委員会中継についてもこれは小田上委員と同じ同意見で、少しずつレベルアッ  
 プしていったらいいのかなと、やっぱり予算の問題とかもありますんで、機材をそろえる  
 ぐらいはもちろんですけれど、予算の問題等がありますんで、少しずつ、まだ今きょう  
 見させてもらったけど、表に出せるレベルじゃないので、皆さんで納得いくまで、まだや  
 らないほうがいいかなと思いました。これもやっぱりこの委員会で、これは決めるべきこ  
 となのかなと思います。よそに聞くとかそんなんは要らないのかなと思いました。

SNSですけど、これは少しでも早く私はやったらいいのかなと思います。これもよそ  
 からの判断を仰ぐのではなく、もうここの委員会で、どれだけの大竹市民の皆さんに見てい  
 ただけるかというところですよ。発信する内容というのは物すごいあると思うんですよ。  
 だから、どれだけの大竹市民に見てもらえるかというのをメインに話を進めていけばいい  
 のかなと思います。

それと、あともう1点。また今後話出てくると思うんですけど、写真ですよ。私もS  
 NSでどんどん、この議会のことやってみたいんですけど、写真を使っていいとか悪いと  
 かいろいろな制限があると思うんですよ。文字使っていていい、何ていうんですか、資  
 料等とか、表に出したいとは思いますが、どこまで出しているのかというのが私には  
 わからないので、そういったことも、もし話ができる、どこまではオーケーだというのが、  
 済みません、僕も言葉が出てこないんですが、以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

いろいろ御意見がありまして、最後のお話につきましては、議会活動というより、議員  
 個人の活動になると思うんですよ。それで、制限を設けているのはこの委員会ではなく、  
 議会全体、また議会運営のほうになると思いますので、この場で協議するのにふさわしい  
 かどうかというのはちょっと判断しかねます。同僚議員、先輩議員からアドバイスもらい  
 ながら、個人の活動ですのでね、進めてもらえたらと思います。

はい、どうぞ。

○藤川委員 済みません、個人の活動もなんですが、先ほどプロジェクターに映った議長発信のでも写真ですよ。例えば、この委員会も写真を撮ってアップしていいのかということなんですよ。それをどこまで、例えば私たちが、今は議長のみでやってますが、委員の皆さんがそのページに発信していく可能性もあるということです。

○寺岡委員長 いえ、ないです。

○藤川委員 ないんですか、議長発信だけですか。わかりました。済みません。

○寺岡委員長 最後のは、もういいですね。

ほか、いかがですか。

今は日程4の研修及び視察についてを協議しておりますが、ほかないですかね。でも、皆さんの御意見伺いよって気になったのが、3月の時点で活動計画の見直しを行います。そのときに、12月の会議で皆さん方に御了解いただいているのが、議員定数の市民アンケート、議会報告会で意見交換、これと決算委員会などの意見を正式に議会に提案するというものを改めてテーブルにのせるかどうかの協議もします。ですので、これまで、ことし入ってから主に話し合いをしてきたもの以外にも広がっていくんですよ。そういったあたりも含めて研究とかが必要かどうかというのが触れておられないので、大丈夫でしょうかね、皆さん。これは12月の時点で皆さん方には確実にお伝えしてあると思うんですけど、いいですか。調査・研究について、決算特別委員会などの意見を正式に議会として提案していく仕組みをつくるというのを3月のこの会議では、どうしますか、研究していきましょかね、どうしましょかねというのを改めて上げる。市民アンケートをとるときにどういった段取りでやりますかねというのをまた、どうしますか、ほんまにやりますか、どうですかというのを決めていくんですけど、その辺も踏まえて、よろしいですかね、特に。

小田上委員。

○小田上委員 3月のときに、またテーブルにのせるかどうかという議論になろうと思います。そのテーブルにのった段階で、必要だろうという検討していこうということになったら、もちろんそのまま手をつけずに、研修、視察をなしでということは考えにくいと思います。内容が内容ですので、ほかの事例を見たりとか研修していく可能性出てこようと思うので、そのときにまた議題として上げるほうが現実的なのかなとは思いますが、まだやるかどうかのテーブルに上げるかどうか決まってない状況で話しするのはちょっと早いかなという気がします。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

皆さん、何かほかありますか。

藤川委員。

○藤川委員 今、委員会などの意見を正式に議案提案という話でしたよね。私、これと、思い込みかもしれないので確認もあつたんですが、これは自由討議につながるものと私自身は思ってたので、済みません。委員会等で出た話を委員会で調整していただいて、それを議員全員協議会にかけるといえるのか、あとで自由討議するといえるのか、私のイメージはそうだったんですね。委員会で要望なり、例えば意見とか出ますよね。それを委員会の委員長に、

それを自由討議というか、全協で自由討議しようかという、それを私がごめんなさい、勝手にイメージをしていたので、分けては考えてなかったんですね。

済みません。以上です。

○寺岡委員長 今のことでいえば、結論から言えば、議員全員協議会などで諮るかどうかは議長判断になりますので、直接は実はつながってないんじゃないかなというふうに今の段階では思います。つなげましょうということになれば、もちろん大きくかかわってきますけど、そういったことも含めて、自由討議については研究が必要ですね。

小中委員。

○小中委員 先ほど委員長がおっしゃいました2点について、特に議員定数削減のアンケートの件については、するかしないかという研究はその後になるとしても、次のあたりですかしないかということは私は決めていただきたいと思いますが、だから、それはそれで、するかしないのかという委員の意見も聞いて、どういう方向にするかという方向づけは早目にしたほうがいいんじゃないかと私は思います。

○寺岡委員長 そうですね。3月活動見直しということはあらかじめお話ししておりますし、どうするかを3月にテーブルに上げるかどうか決めるというのはお話ししていますので、できればそういうふうに進めていきたいと思いますので、議事の進行については御協力をいただくしかないんですが、そのあたりでよろしくお願いします。

ほか、いかがですか。いいですかね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 それでは、随分意見も出てきました。それでは、視察なり研修を開くかどうかというのは、現時点ではまだ保留。次に、活動計画を見直す場面で、じゃあ我々が残り1年少し、中間報告ふうなものをするまでにどういった行動をするかを見直しますので、そのときに本当に必要であれば、また加えていくというふうなところできょうのところはおさめたいんですが、結局のところ、きょう決まったことは余りないということですけどもね。

こういった意見交換、自由討議のありようというところでも一学者さんはおっしゃってましたが、議論することの大切さというところですね。意見を出し合うことの大切さということを述べておられますので、その言葉をおかりして、きょうはこの程度にしておきたいと思います。

ですので、きょうも皆さん言いましたからね、次回何をするのか。しっかり資料読んでおくなり考えをまとめるなりしておいていただきたいと思います。時間もかかるかもしれませんが。意見が割れたときには、特別委員会として採決をしなければいけないかもしれません。議会運営のためにそれぞれでお考えをお示しいただければというふうに思います。

では、本日の議会改革特別委員会は以上で閉会いたします。

11時07分 閉会